**産業廃棄物等に係る意識調査票**

**広 島 県**

**※　記入後は、返信用封筒に産業廃棄物処理実態調査票と**

**合わせて返送してください。**

**《第１　産業廃棄物について》**

**問１　産業廃棄物の排出、処理処分等の将来見込みについて**

貴事業所での産業廃棄物の排出量、再生利用量、最終処分量の将来見込み（令和１０年頃）について、現状（令和５年度）を基準として、どのようになると考えていますか。

それぞれ該当する番号に**１つ○**をつけてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 令和5年頃の増減見込み（基準：令和５年度） | | | | | | |
| かなり減少  (2割以上) | 減少  (１割) | やや減少  (数%程度) | ほとんど  変わらない | やや増加  (数%程度) | 増加  (１割) | かなり増加  (２割以上) |
| （１）  排出量 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |
| （２）  再生利用量 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |
| （３）  最終処分量 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |

**問２　産業廃棄物の適正処理について**

（１） 貴事業所では、産業廃棄物の中間処理、最終処分（リサイクルを含む）を業者に委託する場合、

どのような基準で業者を選定していますか。該当する番号に**○（２つまで）**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　距離的に最も近い業者  ２　処理料金が安価な業者  ３　多少料金は高くても確実にリサイクルできる業者  ４　優良産廃処理業者認定制度の認定を受けた処理業者  ５　電子マニフェストを導入している業者  ６　最終処分までの処理ルートが明確で透明性の高い業者  ７　公共が関与する処理施設  ８　その他 （具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |

（２） 貴事業所では、産業廃棄物の中間処理、最終処分（リサイクルを含む）を委託した業者の処理施設・処理能力等をどのような手段で確認していますか。該当する番号に**１つ○**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　契約時及び定期的に現地に直接出向き、確認している  ２　処理業者を変更する際に現地に直接出向き、確認している  ３　写真、画像など別の手段で確認している  ４　確認したことはない  ５　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問３　産業廃棄物の排出抑制、循環的利用状況について**

（１） 貴事業所では、現在、産業廃棄物・副産物等の排出抑制※やリサイクルに取り組んでいますか。該当する番号に**１つ○**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　自社で取り組んでいる  ２　他社（リサイクル業者等）に委託している  → （３）へお進みください  ３　自社、他社両方で取り組んでいる  ４　今後取り組む予定（現在は取り組んでいない）  ５　取り組んでいない（今後も取り組む予定はない）　→　 （２）へお進みください |

※　排出抑制とは、製造工程の変更・改善や原材料の見直し、現場での廃棄物発生の少ない設計・工法（プレカット

工法等）の採用等によって、事業場（又は工事現場）から廃棄物そのものの排出を削減・抑制することです。

（２） **上記（１）で「５　取り組んでいない ｣に○をつけた方**にお聞きします。

それはどのような理由ですか。該当する番号に**○（複数回答可）**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　リサイクル製品・素材等の需要がない  ２　有害物質を含有しているため、リサイクルが困難である  ３　分別が難しくリサイクルが困難なので、処分（焼却、埋立）するしかない  ４　発生量が少ないため、リサイクル業者が引き取らない  ５　循環的利用は可能だが、設備改造等に要する費用の負担が大きい  ６　処分コストに比べ、リサイクルコストが高い  ７　循環的利用に関する情報（リサイクルルート、技術開発等）がない  ８　循環的利用に取り組む人材（余裕）がない  ９　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |

（３） 貴事業所で排出される産業廃棄物で、リサイクルを行いたいのにできていない廃棄物はありますか。ある場合、その廃棄物の具体的な名称とリサイクルできていない理由を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **廃棄物の具体的な名称**  （例）鋳物砂、廃瓦、解体後のタイル、  建設汚泥など | **リサイクルできていない理由** |
|  |  |
|  |  |

**問４　不法投棄防止に係る県の取組について**

広島県では、産業廃棄物の不法投棄の防止・早期発見のため、様々な方法で監視活動を行っています。以下のような取組を県が実施していることを知っていますか。該当する番号に**○**をつけてください。

２知っているを選択した場合は、どのようなきっかけで知ったかについてもお答えください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組の内容 |  | | |
| 回答 | | 「２知っていた」を選択した場合、知ることとなったきっかけ |
| ヘリコプターによる空からの監視（パトロール） | １知らなかった | ２知っていた | ア新聞・TV等での報道  イ広島県ホームページ  ウその他（　　　　　　　） |
| 船舶による海上での監視（パトロール） | １知らなかった | ２知っていた | ア新聞・TV等での報道  イ広島県ホームページ  ウその他（　　　　　　　） |
| 無人航空機（ドローン）による監視 | １知らなかった | ２知っていた | ア新聞・TV等での報道  イ広島県ホームページ  ウその他（　　　　　　　） |
| 人工衛星の観測データ解析による上空かからの監視 | １知らなかった | ２知っていた | ア新聞・TV等での報道  イ広島県ホームページ  ウその他（　　　　　　　） |

**問５　産業廃棄物の処理等に関する県への意見・要望について**

産業廃棄物の適正処理、排出抑制又はリサイクルに係る県の施策に御意見・御要望がありましたら、ご自由に御記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**《第２　事業系一般廃棄物について》**

**問１　事業系一般廃棄物の排出量について**

貴事業所での事業系一般廃棄物の現在の排出量は、５年前と比較して増減がありましたか。また、増減がある場合、どのような理由で増減がありましたか。

廃棄物ごとに、該当する番号に**１つ○**をつけ、増減の理由を記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | ５年前と比較した、現在の排出量の増減 | | | | | | |
| かなり減少  (2割以上) | 減少  (１割) | やや減少  (数%程度) | ほとんど  変わらない | やや増加  (数%程度) | 増加  (１割) | かなり増加  (２割以上) |
| （１）  一般廃棄物  全体 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |
| 増減の理由 | | | | | | |
| （２）  紙ごみ | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |
| 増減の理由 | | | | | | |

**問２　事業系一般廃棄物の減量化・再資源化について**

（１） 貴事業所で事業系一般廃棄物の減量化・再資源化を進める上で何が課題と考えますか。廃棄物ごとに、該当する欄に**○（３つまで）**をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 一般廃棄物  全体 | 紙ごみ |
| １　取組にコスト・時間がかかる（経済的なメリットが得られない） |  |  |
| ２　減量化・再資源化に関する問題意識があまり高まっていない |  |  |
| ３　減量化・再資源化に関する情報が入手できていない |  |  |
| ４　分別した後、資源ごみを保管する場所が無い |  |  |
| ５　リサイクルできそうな物がほとんどない |  |  |
| ６　適切なリサイクル業者（処理業者）が分からない |  |  |
| ７　事業活動に伴いごみの量が増減する |  |  |
| ８　過剰な製品包装での納入を要求される |  |  |
| ９　（紙ごみについて）機密文書が多くリサイクルできない |  |  |
| １０　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |

（２） 事業系一般廃棄物の減量化・再資源化を推進するため、県・市町はどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。重要だと思われる番号に**○（３つまで）**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　リサイクル業者に関する情報提供  ２　他の事業所で行われているリサイクルの方法の紹介  ３　事業所同士が共同で資源回収を行う組織の育成  ４　市町による事業系一般廃棄物の資源ごみの分別収集の実施  ５　生ごみや草・枝の堆肥化等、新しいリサイクル事業の展開  ６　事業者間で情報交換や取組の意見交換ができる懇談会などの実施  ７　ごみ減量・リサイクルに係る講習会の開催  ８　環境に配慮した製品や事業所への支援・情報発信  ９　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**《第３　食品ロスについて》**

**問１　食品ロス※の発生状況について**

　　　 ※食品ロスとは、本来食べられるのにも関わらず捨てられてしまう食品のことです。

（１） 貴事業所では、現在、食品ロス（取扱っている食品のうち、期限切れや見込による余剰などにより、販売等ができず、廃棄している食品）は月にどれくらいの割合で発生していますか。該当する番号に**１つ○**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　食品を取扱っていない  ２　廃棄していない  ３　５％未満  ４　５～１０％未満  ５　１０％以上 |

|  |
| --- |
| **上記（１）で１、２と回答いただいた方**　**→設問は以上です。**  **御協力いただき、ありがとうございました。**  **上記（１）で３～５と回答いただいた方　→以降の設問に御協力をお願いします。** |

（２） 食品（調理くずを除く）を廃棄している理由は何ですか。該当する番号に**○（複数回答可）**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　需要予測のズレ（急な天候変化、顧客からの急なキャンセルなど）  ２　衛生・品質管理上の問題（返品、荷崩れ、その他社内規定等）  ３　１／３ルール等の商慣習による販売・納品期限の超過  ４　消費期限・賞味期限切れ  ５　食べ残し  ６　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

（３） 貴事業所では、現在、食品ロスや生ごみ（調理くず等）の減量化・再資源化・再利用につながる取組をしていますか。該当する番号に**○（複数回答可）**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　特に取り組んでいない  ２　需要予測の精度を上げて、廃棄する食品量の減少を図っている  ３　商慣習の緩和（販売条件等を緩和し、消費・賞味期限間際の商品を受け入れている（販売してい　　　る）  ４　バラ売りや小袋、少量メニュー等を提供している  ５　消費・賞味期限間際等の商品を子ども食堂等へ提供している  ６　調理くず、食べ残しを堆肥化又は飼料の原料として活用している  ７　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

（４） 貴事業所で食品ロスや生ごみ（調理くず等）の減量化・再資源化・再利用に取り組む上で何が課題と考えますか。該当する番号に**○（２つまで）**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　廃棄食品の削減を行っても経済的なメリットが無い  ２　取組に時間がかかる  ３　どのような取組を行えばいいのか分からない  ４　信頼できる寄付先がわからない  ５　衛生面リスクの問題  ６　適切なリサイクル業者（処理業者）が分からない  ７　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問２　食品ロスの寄付について**

（１） 貴事業所では、発生した食品ロスを社会福祉協議会やフードバンク団体などへ寄付することについて、どのように考えていますか。該当する番号に**１つ○**をつけてください。

|  |
| --- |
| １　寄付している  ２　寄付したいが、寄付先がわからない  ３　寄付したいが、体制が整わない  ４　寄付はしない（食中毒などのトラブルが懸念されるため）  ５　寄付はしない（人手不足のため）  ６　寄付について考えたことがない（食品ロスの発生抑制に重点を置いているため）  ７　寄付について考えたことがない（食品ロスが問題となっていない）  ８　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

（２） 食品ロスや生ごみ（調理くず等）の減量化・再資源化・再利用を推進するために今後必要な取組がありましたら具体的に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

**～設問は以上です。御協力いただき、ありがとうございました。～**